



大井健さんピアノコンサートの様子

ホールではありません。
芸術や音楽活動を更に
活発にするため、文化に親
しめるコンサートホールの
開発を希望します。

答弁 先日、国際交流施設でピアノコンサートが開催され、大井健さんが演奏しました。ピアノをステージ上ではなく床に置くなどの工夫によりピアノの音が程よく共鳴し、大井さんは音の響きのすばらしさに大変驚かれました。

このように施設の使い方を工夫することで、様々な

質問 SDGsの影響もあり、森林や環境に対する関心が高まっています。若い人たちが自然豊かな幌延町で森林の仕事に就けると、働き口も増え、産業も潤うと思います。結果、森林に対する町民の関心が高まり、木材の有効活用や自然保護の取り組みが全国に誇れると思います。



宮本 徒夢君

活用ができると考えています。新しいホールを造ることも有効ですが、相当の予算がかかりすぎます。工夫次第で素晴らしい活用ができる既存の施設を使い、代わりに生の音楽や芸術を鑑賞する機会を増やすことが幌延町民にとって有意義だと考えます。

質問 幌延駅にはホロカルというPR支援センターがあります。認知度は少しずつ高まっていますが、利用の理由やきっかけがないように感じます。ホロカルに町民が作った雑貨や農作物などを売買できるスペースを作ったらJR利用者以外の町民も足を運ぶ人が増えるのではないかと考えます。



村元 終華さん

備促進や、町内産材の木を有効利用すべく、新生児へのプレゼントとして幌延町のミズナラの木を使った積み木の作製が今年よりスタートしています。今後は林業の就労、働き手に関する分野も視野に入れつつ、幌延町の産業振興に貢献できるように事業を考えたいと思います。

答弁 ホロカルは駅に多くの人が集まることに着目し、特産品販売、観光案内、移住相談などを通じてまちに賑わいをつくることを目的にオープンしました。特に特産品は新しく開発した商品の販売を積極的に行い、トナカイの角細工、熊の爪のキーホルダー、押し花のしおりや秘境駅キャラクターグッズは町民の方が手作りした商品です。また「アカハナ」という商品名のミニトマトや「かぼっちゃまくん」という商品名のカボチャは、トナカイ観光牧場の畑で採れたもので、毎日買いに来られる町民の方もいるほど人気があります。また、札幌の人気ラーメン店とのコラボ商品を駅の中に設置した自動販売機で販売を始めたところ早くも人気商品となっています。地域のことを知る機会としてホロカルをのぞいてみてください。



傍聴に来た幌延小学校6年生の記念撮影

お詫びと訂正

議会だより第125号(広報誌12月号)で一部誤りがありました。

○10ページ 1段目

誤 ▼令和4年度

正 ▼令和3年度

お詫びして訂正します。